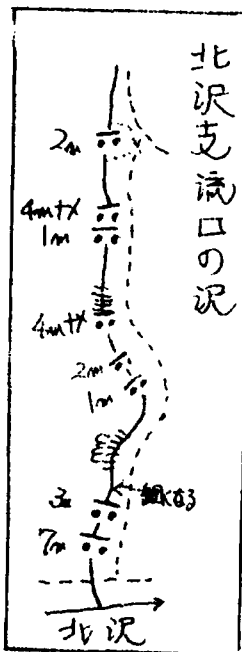


8:40最後をかざる2つの小滝を直登する。このあとは岩屑を踏みしめながらとにかく登るのみとなった。9:10水もなくなり、遡行終了とする。

[タイム] 山本不動尊(6:30)→北沢出合(6:45)→への沢出合(7:35)→力の沢出合(8:20)→北沢終了(9:20)

北沢支流口の沢

1988年9月17日



口の沢(仮称)は小さな沢であるが、北沢ぞいの踏跡を越えた所に7mの滝をかけている。それにひかれての遡行である。10:35遡行開始。

まず最初の7m滝は、左岸を直登する。岩が滑るので注意が必要だが、思ったよりホールドが多くて、割と楽に登れた。その奥に3mの滝がある。そしてそれを越えると、沢は急に細くなった。

細々とした流れは、小滝をまじえながらなおも続く。しかし初めから小さな沢であった口の沢のこと。15分遡った所で源頭となった。遡行終了10:50。宮川支流四ノ沢(仮称)の下降を予定しているので、右手の尾根めざして斜面に登る。尾根には、かすかだが、踏跡があった。

(記)

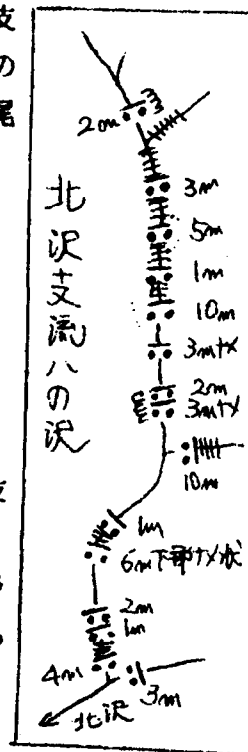
[タイム] 口の沢出合(10:35)→終了(10:50)

北沢支流ハの沢

1988年9月17日

南沢支流口の沢(仮称)の遡行終了後尾根を越して、北沢支流ハの沢(仮称)の下降に移る。急傾斜の斜面を下りきると、細い水の流れが出てきた。そしてすぐ2mの滝。右岸をクライミングダウンするが、岩がモロく、すべりやすいので、ちょっと緊張した。

続いて3mの滝。右岸を搦いて下る。その下の5m滝は、



左岸を捲く。下って見上げると、登れそうな気がするので、ちょっと挑戦する。ホールドは細かいものの、シャワーで直登することができた。

小滝をはさんで今度は10mの滝。上半分をクライミングダウンしたあと、右岸のブッシュ帯に入り込んで下る。左岸にルートをとればクライミングダウンできたかもしれない。

このあとも小滝が続く。この沢は、下りよりも登りに使ったほうがおもしろかったようだ。やがて6m滝。上段は右岸をクライミングダウン。ちょっときつかった。下段はナメ状で、楽に下ることができた。

あとは小滝が続いて、10:30北沢本流に出る。

(記)

[タイム] ハの沢下降開始(9:55)→終了(10:30)

北沢支流への沢 右俣, 左俣

1988年9月3日

11:15下降開始。急な斜面を下って、5分程で沢に出る。花崗岩の沢である。期待が持てそう。

5分程下ると、3mの滝が出てきた。左岸を捲いて下る。ナメ状であり、登ることはできそう。このあとさらに小滝を1つ越えると、また3m滝。沢幅がせまくなっており、両岸に足を突っ張るようにしてクライミングダウンする。そしてそのすぐ先、突然足元が切れ落ちた感じで、2mと7mの連続する滝。上段の2mはクライミングダウンできるが、下の7mはとても無理。右岸のブッシュ帯を下る。下から見上げた感じでは、下部がちょっといやらしいが、上部はホールドも多く、登れるかもしれない。

このあとすぐに二俣。左俣は規模も小さいが、5mの滝が見えている。見逃す手はないと、遊行を始める。5mと3mの滝を続けて直登。す

